

週間感染症情報

2019年39週 2019年9月23日より2019年9月29日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	2
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	
溶連菌感染症	13
手足口病	11
ヘルパンギーナ	4
伝染性紅斑	1
感染性胃腸炎	8
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	1
突発性発疹	
伝染性膿痂疹(とびひ)	10
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	3
RSウイルス感染症	24
マイコプラズマ感染症	1
ヒトメタニューモウイルス	
インフルエンザ(臨床診断含む)	4
インフルエンザA	4
インフルエンザB	

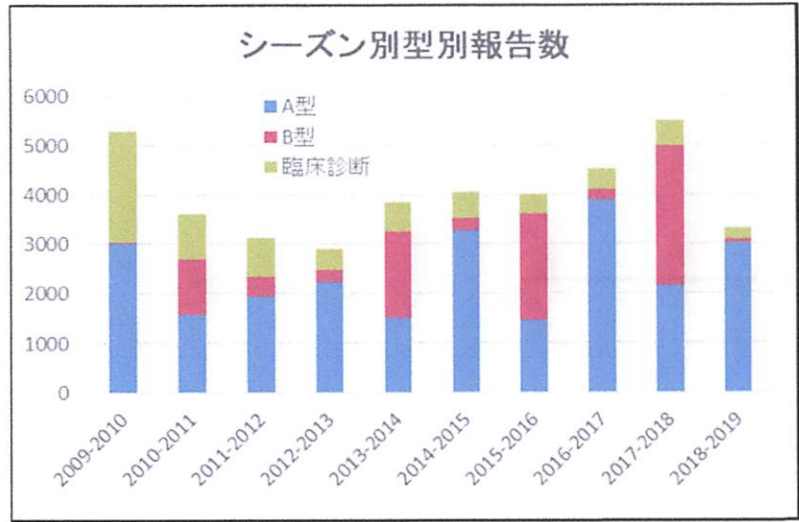
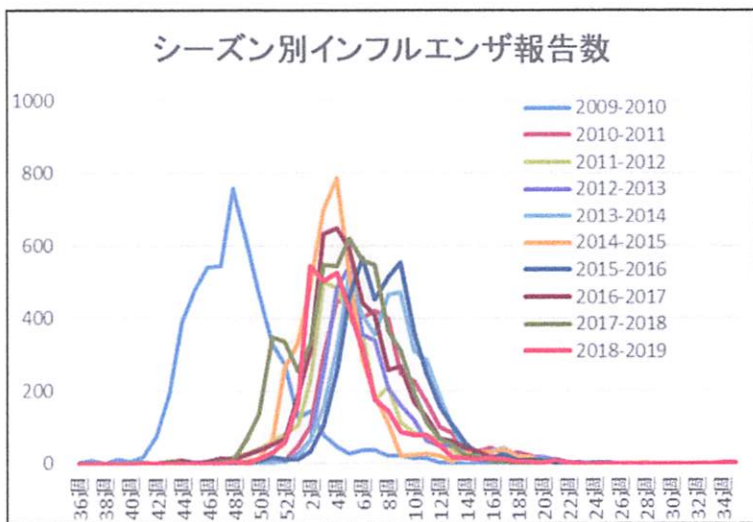
インフルエンザAの報告が4例ありました。岡山市在住の家族例3例と、市内中学3年生です。今シーズンは、全国的にインフルエンザの流行が早く始まり、沖縄では警報が出ています。東京や九州の各県でも、注意報レベルの1.0を超えています。今週になり岡山市吉備津の鯉山小学校で3年生が学年閉鎖になっています。この時期のインフルエンザは散発例で終わることが多いのですが、全国的に集団発症の報告があり、流行が立ち上がってきているようです。

下のグラフの様に、2009-2010シーズンはAH1pdmの大流行がありました。今後インフルエンザを鑑別に入れて診療する必要があります。訪日外国人数は2013年の1000万人から2018年は3100万人と3倍になっています。人とともに病気も持ち込まれます。ワクチン接種は早めに開始したほうが良いようです。当院でも職員に接種を始めました。

水痘は吉備中央町の小学校1年でクラス内(15名)の流行です。

手足口病・ヘルパンギーナなど夏の病気は減少して、感冒症状の症例が増えました。

RSウイルス感染症の流行は続いています。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> 変更になりました。)